

元日野町地域おこし協力隊
吉海星来さん



令和5年10月13日～15日
アカペラ地域合宿♪



今回は、令和3年11月から令和6年11月までの3年間「日野町地域おこし協力隊」として活動された吉海星来さんにお話を伺いました。

※地域おこし協力隊は、自治体が都市に住む人材に委嘱し、地域活性化の活動に従事してもらうものです。

地域おこし協力隊になったきっかけ

吉海さんは、大学生のときに就職活動をするにあたり、まだ社会のことや自分のことを知る材料・経験が少ないと感じ、もつと外に出てさまざまなことを知りたいと考えていました。そんなときに日野町地域おこし協力隊のことを知り、「この町でどんなことに出会えるだろう」という気持ちで九州から日野町へ飛び込んだそうです。

3年間の活動を振り返って

吉海さんは、「地域おこし協力隊では、働きながら地域や社会のことを知ることができました。都会では、若者はあふれているけれど、住む場所を変えると、若者である

ことが強みになりました」と話されました。

吉海さんは、地域おこし協力隊として、DIY合宿や学生地域インターン、日野祭を観光という観点だけでなくお手伝いとして関わる機会を町外の人に提供する活動に取り組まれました。

その中で最も思い出深いのは、「アカペラ地域合宿」だそうです。学生時代に佐賀県と一緒に活動していた仲間とイベントに出演するだけでなく、地域とのつながりをいかにつくるかを意識して活動されました。

若者に伝えたいこと

吉海さんは日野町の若者に向けて「地域に住んでいると何もないと思うかもしれないけれど、それは余白があるということなので、自分たちが楽しいと思えることを自分たちで活動してつくることや、新しいことに挑戦できることもあります。夢をあきらめずにがんばってください」と話されました。

今後の吉海さんの活躍を応援しています。



町ホームページ
地域おこし協力隊
活動報告会

やまもと ひでき
山本 秀喜氏（西大路3区）

地域特産物 マイスターに



J Aグリーン近江日野菜生産部会副部会長の山本秀喜氏が、2024年度「地域特産物マイスター」に認定されました。

この制度は、日本特産農産物協会（東京）が、地域の活性化に重要な地域特産物生産に長年携わり、栽培や加工で卓越した技術を持つ指導者を「地域特産物マイスター」として認定するもので、現在全国に378名が登録されています。

山本氏は、町内で栽培される日野菜の1割（春作20a+秋作60a）を栽培するとともに、日野菜播種（種まき）作業のオペレータとして町内の日野菜生産に貢献されています。

今後、日野菜の栽培をされる方や経験の浅い農家への助言、小学校への栽培指導などを通じて日野菜振興の取り組みが一層加速することが期待されています。



◆問い合わせ先 農林課 農政担当

☎0748-5216563

小さい子にも
分かりやすいように
考えたよ



1月13日(月)、日野町林業センターで「こどもと大人が知恵を出しあって『ひのっこ宣言』を作ろう!」と題して、第2回こども・大人ワークショップが開催されました。

ワークショップのメンバーには子ども18名、大人6名が参加し、誰もが気持ちよく暮らすための合言葉として「やる気」「忍耐力」「協調性」といった「非認知能力」の言葉をたくさん出しあい、その中から厳選して7つの『ひのっこ宣言』を作りました。

『ひのっこ宣言』は、3月9日(日)にわたむきホールで開催する町村合併70周年記念式典で披露されます。子どもたちが積極的に意見を出して作った『ひのっこ宣言』を大人も子どもも意識し、みんなで明るい日野町をつくっていきましょう。

『ひのっこ宣言』を作ろう! こども・大人ワークショップ

今年も元気に過ごせるように
頭をかぶっ!



1月21日(火)、西大路公民館で「獅子舞を見る会」が行われました。これは、未就園児親子を対象とした子育てサロン「ちびっこサロン」の主催で例年この時期に行われ、サロン参加者のほか、西大路幼稚園の園児や地域の方が一緒に伊勢大神楽を観覧されています。昨年から会場を幼稚園から公民館に変更されたため地域の方が参加しやすくなり、今回も多くの方が訪れていました。

迫力ある2頭の獅子の舞や見事な傘回しなど、すばらしい演舞が次々と披露され、会場の誰もが見入り、何度も拍手が沸き起こりました。

最後に、今年の無病息災や健やかな成長を祈り、獅子が観覧された方々の頭を囓んで回りました。

「獅子舞を見る会」で 伊勢大神楽を観覧

3年生は、4つの系列・日野高ゼミの発表が行われました。「サウナ」について探究した生徒は、この学習をきっかけにひの若者会議(仮)サウナ部との初の共同イベントを開催する予定となりました。

神崎校長は、「調べ学習で終わるのではなく、外部の方と連携して実際に形にするのは探究学習のさらに先の活動を行って非常に感心をした」と話されました。

学習の成果を発表



1月22日(水)、日野高校で総合学科発表大会が行われました。

1年生は、「日野チャレを終えて」と題して、地域や行政と関わり、町の現状から課題を見つけ、日野町に住み続けるために必要なことを考えました。さまざまな世代や外国の方・町外の方と交流できるイベントや場所を設け、コミュニケーションをとることが必要などの意見がありました。

2年生は、2日間の就業体験で学んだことを発表しました。働くとは、「責任感やコミュニケーションが必要。お金を稼ぐだけでなく、社会の一部を担っている。誰かの役に立っている」と気付いたそうです。

日野高校

総合学科発表大会